

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場会社名 昭和パックス株式会社
 コード番号 3954 URL <http://www.showa-paxxs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大西 亮
 (氏名) 飯崎 充

TEL 03-3269-5111

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,550	△1.3	168	3.7	225	11.2	151	56.6
25年3月期第1四半期	4,609	△1.9	162	△31.2	203	△30.9	96	△48.1

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 382百万円 (259.0%) 25年3月期第1四半期 106百万円 (△44.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	17.06	—
25年3月期第1四半期	10.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	22,147	10,402	45.5	1,134.58
25年3月期	20,972	10,075	46.6	1,099.55

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 10,079百万円 25年3月期 9,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,200	5.9	460	13.0	500	9.9	315	20.3	35.46
通期	20,000	7.2	790	6.5	870	3.6	545	3.6	61.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	8,900,000 株	25年3月期	8,900,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	16,220 株	25年3月期	16,220 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	8,883,780 株	25年3月期1Q	8,884,553 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）における我が国経済は、1～3月期実質GDPの大幅プラス成長の後を受け、鉱工業生産指数の上昇など景気の持ち直し傾向が強まりました。消費者マインドの改善による個人消費の増加、復興需要と緊急経済対策による景気押し上げ効果に加えて、円安と米国の堅調な成長で実質輸出が緩やかに回復するなど、景況感が上向く中でデフレ脱却の期待が高まりつつあります。

今後も緊急経済対策の本格的な進捗、輸出環境の更なる改善、業績回復による企業の設備投資意欲の強まりなどで、2013年度は高い成長率となることが期待されます。ただ、懸念されるリスクとして、個人消費の増加が所得の増加を伴っていないこと、輸入価格の上昇、根強く残存する企業の設備過剰感、中国経済減速の影響などが挙げられます。

当社グループの主要事業は国内生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売であります。当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、タイ昭和パックス㈱は大幅増収となりましたが、当社の出荷数量の前年同期比減少により、売上高は4,550百万円で前年同期に比して59百万円の減収となりました。損益につきましては、連結子会社の原価低減効果が大きく、営業利益168百万円（前年同期比5百万円の増益）、経常利益225百万円（同22百万円の増益）、四半期純利益151百万円（同54百万円の増益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

①重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の第1四半期連結累計期間出荷数量（ゴミ袋を除く）は、4月、5月は前年同月を上回ったものの6月は減少し、第1四半期全体では前年同期比△0.3%とわずかに減少となりました。米麦、製粉用途は横ばい、飼料、合成樹脂等の分野は増加しましたが、化学薬品、セメント、砂糖・甘味等の用途は減少しました。

当社の売上数量は前年同期比△1.9%であり、業界全体よりも大きな減少幅となりました。合成樹脂、化学薬品用途では数量を増やしましたが、米麦、砂糖・甘味、塩等の用途で減少しました。

子会社の九州紙工㈱の売上数量は生産性を向上させて前年同期比+5.4%となりました。タイ昭和パックス㈱の第1四半期連結累計期間（1～3月）は、洪水の影響が残った前年同期と比べて8.8%と増加しました。山陰製袋工業㈱の第1四半期連結累計期間（1～3月）は前年同期比で△0.9%とほぼ横ばいでした。

当セグメントの第1四半期連結累計期間売上高は2,941百万円で、前年同期に対し3.1%の増収となりました。

②フィルム製品

フィルム製品の業界全体の第1四半期連結累計期間の出荷量は、減少幅は小さいものの産業用、農業用とも減少しました。その中で主原材料であるポリエチレン樹脂価格が値上がりしたため、フィルム加工業の採算は厳しくなりました。

当社の売上数量は、産業用、農業用いずれも減少し、合計で前年同期比△10.8%と苦しい結果となりました。

当セグメントの第1四半期連結売上高は871百万円で、前年同期に対して12.4%の減収となりました。

③コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、第1四半期連結累計期間の海外からの輸入数量が除染用途などで伸びており、全体の流通量は前年同期比で増加していると思われます。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は自社製品、輸入販売品とも減少し、全体では前年同期比△3.8%でした。大型コンテナバッグ「バルコン」は絶対量は少ないながら数量を20.7%伸ばしました。また、液体輸送用の1000ℓ内袋「エスキューブ」、20ftコンテナ内袋「エスタンク」は固定顧客がつき着実に数量を伸ばしています。

当セグメントの第1四半期連結累計期間売上高は395百万円で、前年同期に対して3.2%の減収となりました。

④不動産賃貸

賃貸用不動産及び賃貸契約内容に大きな変動はありません。当セグメントの第1四半期連結累計期間売上高は前年同期から4.7%増の64百万円でした。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末総資産は22,147百万円で、前連結会計年度末に比べて1,174百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金562百万円、有形固定資産436百万円、投資有価証券134百万円です。

(負債)

負債合計は11,744百万円で、前連結会計年度末に比べて848百万円増加しました。主な増加要因は短期借入金183百万円、その他の流動負債755百万円、主な減少要因は賞与引当金104百万円です。

(純資産)

純資産合計は10,402百万円で、前連結会計年度末に比べて326百万円増加しました。これは主に四半期純利益151百万円および剰余金の配当53百万円、その他有価証券評価差額金87百万円等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、減収ではありましたが、連結子会社の貢献で増益となりました。我が国経済は不確定要因を抱えながらも当面は回復傾向が期待されます。内需において当社グループが売上数量での回復を実感するにはまだ至っておりませんが、今期中の新導入設備の稼働を見据えて、売上と利益の拡大に注力してまいります。

当連結会計年度（平成25年4月1日～平成26年3月31日）通期の業績見通しにつきましては、当初の予想（平成25年5月13日発表）を変更せず、連結売上高20,000百万円、連結経常利益870百万円、連結当期純利益545百万円を見込みます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,131,954	4,694,673
受取手形及び売掛金	5,961,333	5,961,747
商品及び製品	1,348,284	1,444,800
仕掛品	87,760	119,952
原材料及び貯蔵品	1,049,061	1,030,048
繰延税金資産	166,065	166,745
その他	298,503	199,961
貸倒引当金	△13,410	△14,006
流動資産合計	13,029,554	13,603,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,614,376	6,692,374
減価償却累計額	△4,527,220	△4,608,681
建物及び構築物(純額)	2,087,155	2,083,692
機械装置及び運搬具	8,045,066	8,179,370
減価償却累計額	△6,846,949	△6,991,926
機械装置及び運搬具(純額)	1,198,117	1,187,444
土地	855,667	874,169
リース資産	39,592	39,592
減価償却累計額	△12,813	△14,100
リース資産(純額)	26,779	25,492
建設仮勘定	305,811	739,109
その他	624,659	638,532
減価償却累計額	△566,933	△580,357
その他(純額)	57,726	58,175
有形固定資産合計	4,531,258	4,968,082
無形固定資産		
リース資産	1,361	1,069
ソフトウェア	47,947	45,457
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	58,539	55,756
投資その他の資産		
投資有価証券	2,900,990	3,035,683
繰延税金資産	11,358	11,388
その他	500,745	528,526
貸倒引当金	△60,274	△56,196
投資その他の資産合計	3,352,819	3,519,402
固定資産合計	7,942,617	8,543,241
資産合計	20,972,171	22,147,163

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,537,550	4,571,771
短期借入金	3,076,960	3,260,100
未払法人税等	137,998	90,877
賞与引当金	298,967	194,822
役員賞与引当金	21,916	17,640
リース債務	7,497	7,497
繰延税金負債	3,506	3,675
設備関係支払手形	13,805	12,874
その他	863,454	1,619,413
流動負債合計	8,961,657	9,778,673
固定負債		
長期借入金	631,000	629,500
退職給付引当金	200,420	204,814
役員退職慰労引当金	117,713	119,233
環境対策引当金	14,005	14,005
資産除去債務	6,963	6,963
負ののれん	113,992	99,743
リース債務	20,499	18,624
繰延税金負債	643,946	686,195
長期預り保証金	186,512	187,178
固定負債合計	1,935,054	1,966,258
負債合計	10,896,711	11,744,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	8,196,888	8,295,163
自己株式	△7,502	△7,502
株主資本合計	9,119,733	9,218,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	686,009	773,813
為替換算調整勘定	△37,605	87,520
その他の包括利益累計額合計	648,404	861,333
少数株主持分	307,323	322,890
純資産合計	10,075,460	10,402,232
負債純資産合計	20,972,171	22,147,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,609,248	4,550,058
売上原価	3,833,669	3,779,277
売上総利益	775,578	770,780
販売費及び一般管理費	612,788	602,036
営業利益	162,790	168,744
営業外収益		
受取利息	738	718
受取配当金	35,878	36,402
負ののれん償却額	14,249	14,249
為替差益	692	17,939
その他	6,579	4,880
営業外収益合計	58,137	74,189
営業外費用		
支払利息	16,534	16,156
その他	1,103	814
営業外費用合計	17,637	16,971
経常利益	203,289	225,963
特別利益		
投資有価証券売却益	—	200
特別利益合計	—	200
特別損失		
固定資産除却損	1,241	60
投資有価証券評価損	39,135	—
特別損失合計	40,376	60
税金等調整前四半期純利益	162,913	226,103
法人税、住民税及び事業税	65,840	71,449
法人税等調整額	1,400	△455
法人税等合計	67,240	70,994
少数株主損益調整前四半期純利益	95,672	155,109
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,127	3,532
四半期純利益	96,800	151,577

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	95,672	155,109
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△67,657	88,157
為替換算調整勘定	78,480	139,028
その他の包括利益合計	10,822	227,185
四半期包括利益	106,494	382,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,640	364,506
少数株主に係る四半期包括利益	6,853	17,787

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,852,241	995,333	409,137	61,474	4,318,186	291,061	4,609,248
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,852,241	995,333	409,137	61,474	4,318,186	291,061	4,609,248
セグメント利益	149,343	64,586	76	33,673	247,680	21,950	269,630

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	247,680
「その他」の区分の利益	21,950
全社費用(注)	△106,840
四半期連結損益計算書の営業利益	162,790

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,941,237	871,780	395,968	64,350	4,273,337	276,720	4,550,058
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,941,237	871,780	395,968	64,350	4,273,337	276,720	4,550,058
セグメント利益又は損失(△)	173,648	48,978	△17,312	36,801	242,117	22,948	265,065

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	242,117
「その他」の区分の利益	22,948
全社費用(注)	△96,321
四半期連結損益計算書の営業利益	168,744

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。